

静岡県月例経済報告

(令和5年10月号)

……令和5年8月を中心とした県内経済のすがた……

No. 570

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	7
	・ 需要面	7
	・ 生産面	15
	・ 雇用面	17
	・ その他	20
III	静岡県主要産業の動向	24
IV	データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和5年8月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和5年8月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰等の影響から一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される中、物価高騰や海外経済の動向等に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱い動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額(8月)は、百貨店が2か月連続、スーパーが5か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(8月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが10か月連続、ドラッグストアが28か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも20か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(8月)は、乗用車が12か月連続、軽自動車が2か月ぶりに前年実績を上回ったため、総数でも12か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(8月)は、持家が7か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が2か月ぶり、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(8月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観(6月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(8月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(8月)は、自動車^が8か月連続、自動車の部分品、科学光学機器がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が2か月ぶり、エアコンが3か月連続、二輪自動車類が2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも15か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額(8月)は、紙類及び同製品が2か月連続、自動車の部分品が5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品、パルプがいずれも3か月連続、木材が9か月連続、原動機が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも5か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、921億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱い動きとなっている」

鉱工業生産指数(8月)は、業種別にみると、輸送機械が6か月連続、化学が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、電気機械が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品が10か月連続、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも3か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は3か月連続で減少した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる」

有効求人倍率(8月)は1.20倍となり、前月を0.02ポイント下回った。全国値を0.09ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(8月)は、5か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(7月)は、20か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(8月)は、前年同月比 0.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(8月)は、前年同月比 4.7%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産(9月)は、件数は31件(前年同月比 93.7%増)、負債総額は1,666百万円(同 34.3%増)と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>



浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

入場券
好評発売中

入場料

入場料	普通入場券				セット入場券				期間パスポート			
	大人		小・中学生		大人		小・中学生		大人		小・中学生	
	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日	前売	当日
浜名湖ガーデンパーク	600円	800円	300円	400円	1,200円	1,700円	600円	850円	2,400円	3,200円	1,200円	1,600円
はままつフラワーパーク	700円	1,000円	350円	500円	—	—	—	—	—	—	—	—

※はままつフラワーパークは、東海地方の観光資源として、浜名湖ガーデンパークと連携して開催いたします。入場料は別表のとおりです。浜名湖花博2024は、浜名湖ガーデンパークで開催いたします。

主催・お問い合わせ | 浜名湖花博20周年記念事業実行委員会 | 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階) | 受付時間：月曜～金曜 8:30～17:00、土日・前日除く | 浜名湖ガーデンパーク会場に関すること | 浜名湖花博2024実行委員会 TEL: 053-482-7350 | はままつフラワーパーク会場に関すること | 浜松市緑政課 TEL: 053-457-2565

浜名湖花博2024 検索



花博を一足先にお楽しみいただけます！



浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

プレイベント

2023

SAT

SUN

11/11-26 @ 浜名湖ガーデンパーク
10:00-16:00

前売り入場券販売中！

(全期間)

- ・天皇陛下御即位 5 周年記念写真展
- ・平形精逸氏書道展

11 日 (土)

- 10:00- 平形精逸氏の書道揮毫 (平形氏書「遠江八景」の色紙を抽選でプレゼント！)
- 10:30- 花博オリジナル切手贈呈セレモニー
- ・キッチンカーで静岡県の食を満喫
- ・ステージイベント (和太鼓・フラダンス)
- ・体験教室 (エコバッグ・ゴム鉄砲作り)
- ・花博切手販売



◎ てんでん



◎ ウグリン

12 日 (日)

- ・球根ばらまき (花博 HP より要事前申込み)

23 日 (木・祝)

- ・たねダンゴづくり体験講座 (花博 HP より要事前申込み)

25 日 (土) ~ 26 日 (日)

- ・日中韓の茶の飲み比べ (10:30-、11:30-、13:30-、14:30-、15:30-)
- ・デジタルワークショップ
- ・キッチンカーで静岡県の食を満喫
- ・浜松市ブース (VR ゴーグル体験)
- ・ステージイベント (ジュニアドラマ発表会)
- ・SUZUKI のセニアカー体験
- ・体験教室 (ゴム鉄砲作り)
- ・花博切手販売 (25 日)

※各回 30 分程度
先着順にチケット配布

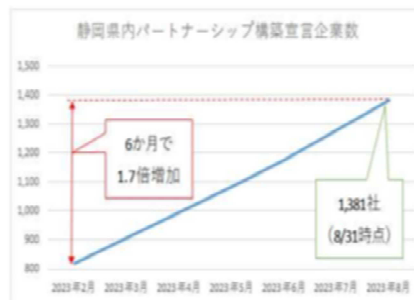
詳細はこちら！



主催：浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会 TEL：053-482-7351

静岡県は、「パートナーシップ構築宣言」を促進しています！

- 令和5年6月7日に産官労の3者で「**パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言**」を行い、「**適切な価格転嫁**」の気運醸成に連携して取り組んでいます。
- 宣言登録数が増加傾向にあるなど、「**適切な価格転嫁**」の実現に向けた取組は進んでいます。
- 静岡県では、適正な取引に向けた価格交渉に関するお悩みを解決するため、「**相談窓口などの情報をとりまとめたホームページ**」で公開しましたのでご活用ください。



価格交渉に困ったら

適正な取引に向けた価格交渉に関するお悩みを解決するため、相談窓口などの情報を掲載しています。



まず何をすればよいか分からない、そんなときにご覧ください。

何をすればいいかわからない	どこに相談していいかわからない	価格交渉に踏み出せない
(1) 交渉のプロセスを知る	(2) 交渉の準備をする <small>(材料費や労務費のデータ収集、「原価」の把握)</small>	(3) 支援窓口を頼る

右記QRコードからご覧ください。



静岡県 経済産業部 産業政策課

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和5年10月24日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 56	件 379	建設業37.7%、卸小売業17.7%、製造業15.0%、運輸業5.0%、飲食業2.9%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 572	件 3,158	建設業24.1%、卸小売業22.6%、製造業22.4%、飲食業6.6%、運輸業4.1%、宿泊・旅行業0.7%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 5	件 14	製造業64.3%等
計		億円 12,553	件 75,094	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R4年 10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
農・林・漁	21.5	11.1	▲34.0	5.1	9.8	▲19.9	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3	▲24.4
建設業	▲0.3	▲2.9	▲3.1	▲14.0	▲8.6	▲0.5	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0	1.2
製造業	3.1	▲2.0	▲3.4	▲7.2	▲16.4	▲18.1	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7	▲13.8
卸売・小売業	9.9	12.9	29.7	▲2.1	9.3	19.9	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8	▲16.6
金融、保険 不動産業	17.0	7.7	14.5	▲9.1	11.1	6.3	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1	▲3.9
運輸業	0.8	6.8	▲12.9	▲10.7	▲17.3	▲8.7	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2	▲10.7
情報通信業	9.0	11.0	1.1	▲12.4	15.5	▲22.0	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1	▲15.5
飲食、宿泊 サービス業他	11.5	19.1	8.3	4.0	7.0	5.0	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7	▲1.6
県全体	5.6	5.5	3.2	▲1.8	▲1.4	▲1.5	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0	▲10.4

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R4年 10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
農・林・漁・鉱業	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
建設業	6	3	1	1	4	5	2	2	2	8	6	7
製造業	4	4	6	4	6	4	3	3	2	5	2	4
卸売・小売業	6	1	4	4	4	8	4	3	4	5	2	6
金融、保険 不動産業	1	1	2	3	1	1	0	2	0	2	0	3
運輸業	1	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	1
情報通信業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
飲食、宿泊 サービス業他	4	3	4	3	2	10	2	6	7	4	5	8
県全体	22	14	18	19	19	30	11	17	15	24	15	31
うちコロナ 関連倒産	5	2	5	8	3	11	8	2	9	5	4	5

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

8月 = 37,948百万円

*前年同月比： 1.9%増

(県内3百貨店、158スーパー合計)

<概況>

8月の大型小売店販売額は37,948百万円で、前年同月比 1.9%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 8.0%増）が2か月連続、スーパー（同 1.0%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、家庭用品（同 6.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 0.2%増）が3か月連続、身の回り品（同 23.3%増）が2か月連続、飲食料品（同 1.0%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.1%増と、14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	38,668	33,556	36,551	35,630	37,198	36,227	38,847	37,948
前年同月比(%)	2.7	0.1	0.3	2.7	0.1	0.9	3.3	1.9
うち百貨店(%)	2.6	7.9	6.5	4.4	▲0.2	▲0.2	4.1	8.0
スーパー(%)	2.7	▲1.2	▲0.9	2.4	0.2	1.0	3.2	1.0
(参考1)全国前年同月比(%)	5.3	4.7	3.2	4.8	3.4	4.1	5.5	6.0
うち百貨店(%)	14.8	20.3	9.9	8.9	6.6	7.2	8.8	12.0
スーパー(%)	2.2	▲0.0	0.7	3.4	2.3	2.9	4.3	4.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.2	0.9	0.9	3.0	2.0	2.4	4.9	4.1

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	4.0	8.5	2.4	5.3	▲0.4	1.1	9.8	0.2
うち紳士服・洋品	13.5	14.5	7.7	10.0	4.5	4.3	14.4	8.4
婦人・子供服・洋品	2.2	8.1	1.8	5.2	▲0.7	1.0	9.5	▲1.6
身の回り品	7.5	13.3	2.0	11.8	7.1	▲1.7	7.7	23.3
飲食料品	3.1	▲1.1	▲0.5	2.4	0.2	0.3	2.2	1.0
家庭用品	▲6.8	▲10.8	▲10.8	▲8.2	▲10.5	2.1	▲2.0	▲6.5
うち家庭用電気機械器具	▲10.8	▲16.5	▲13.5	▲11.7	▲19.6	5.2	▲5.2	▲6.7

(注)店舗数調整済、全月速報値

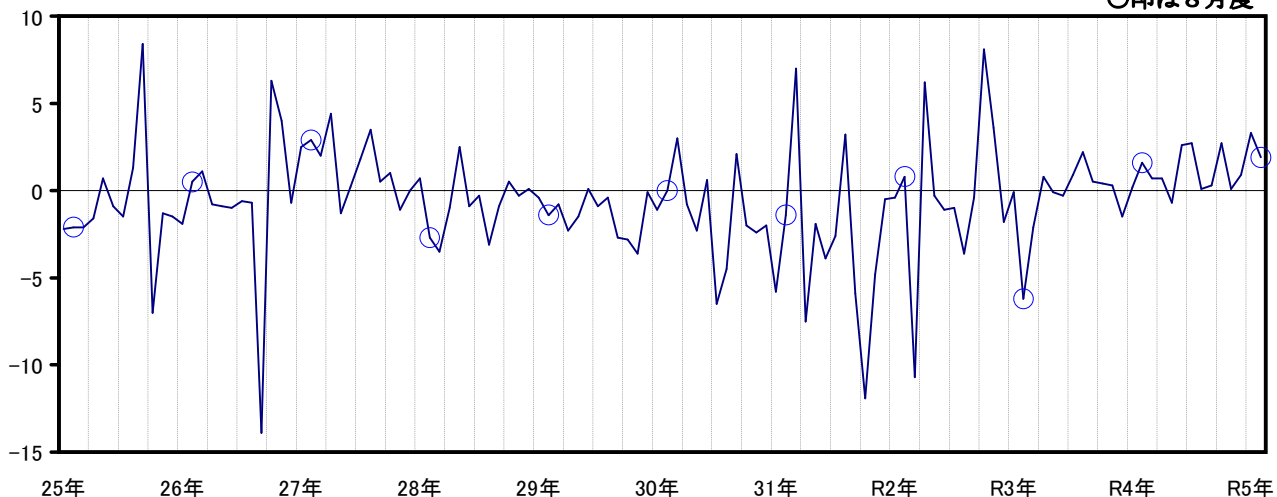
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は8月度



(2) 専門量販店等販売額

8月 = 80,673百万円

*前年同月比：2.0%増

(県内93家電大型専門店、1,661コンビニエンスストア、594ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

8月の専門量販店等販売額は80,673百万円で、前年同月比2.0%増となり、20か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比2.8%減）、ホームセンター（同3.1%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同1.3%増）が10か月連続、ドラッグストア（同5.6%増）が28か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額（百万円）	74,378	68,228	77,815	75,121	76,578	75,162	84,147	80,673
前年同月比（%）	2.8	4.8	2.3	5.2	2.9	2.0	5.4	2.0
うち 家電大型専門店（%）	▲1.2	1.4	▲4.3	▲4.8	▲4.3	▲7.8	1.5	▲2.8
コンビニエンスストア（%）	2.5	4.4	3.5	3.9	2.5	0.8	3.4	1.3
ドラッグストア（%）	6.5	7.9	5.5	10.8	8.8	8.2	9.3	5.6
ホームセンター（%）	▲3.0	▲0.7	▲4.3	2.3	▲6.0	▲2.7	4.3	▲3.1
(参考)全国前年同月比（%）	2.9	4.5	3.8	4.2	3.8	2.9	6.5	5.7

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

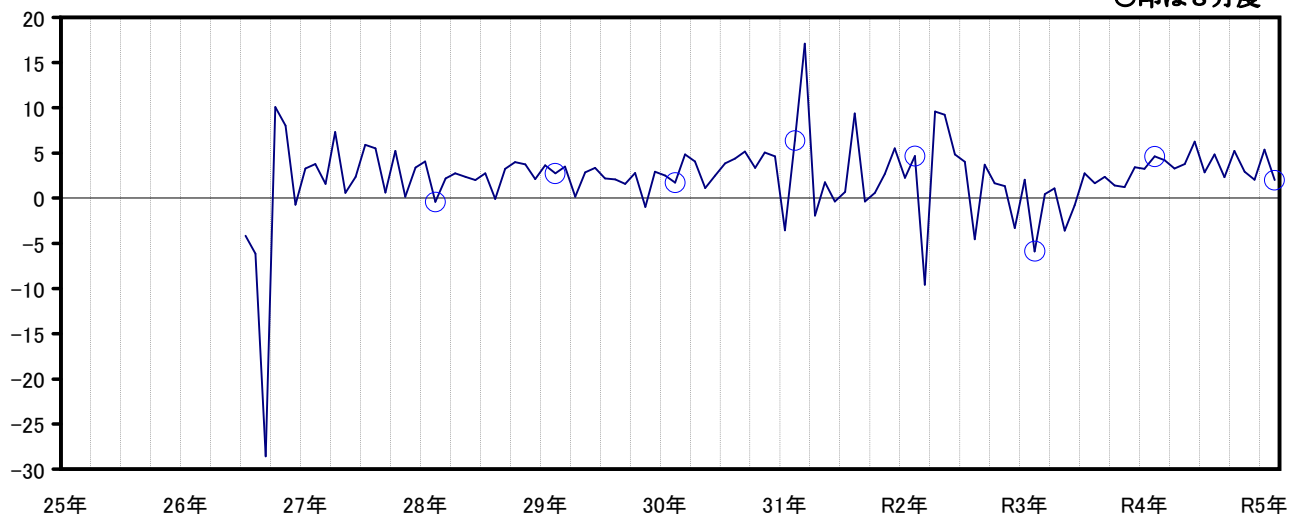
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は8月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**8月 = 11,120 台**

*前年同月比： 12.6%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

8月の自動車(新車)新規登録台数は11,120台(前年同月比 12.6%増)と、12か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 12.9%増)が12か月連続、軽自動車(同 12.3%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
登録台数(台)	14,319	15,853	19,853	11,913	11,291	13,003	12,119	11,120
前年同月比(%)	14.1	18.2	9.7	16.5	22.8	14.4	1.6	12.6
(参考)全国前年同月比(%)	17.4	22.9	12.1	18.5	28.4	23.9	11.4	19.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全乗用車	14.1	18.2	9.7	16.5	22.8	14.4	1.6	12.6
乗用車	7.6	25.8	17.1	30.8	35.0	24.4	16.8	12.9
軽自動車	21.1	11.0	2.2	4.0	11.5	4.5	▲14.2	12.3

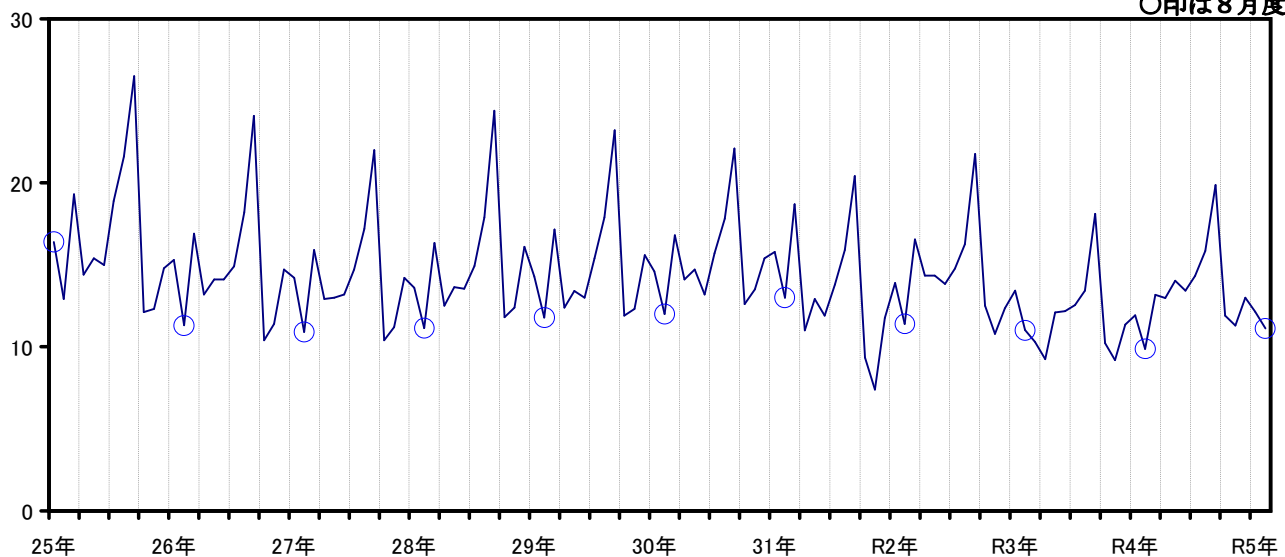
<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課

○印は8月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

8月 = 2,028 戸

*前年同月比：17.2%増

<概況>

8月の新設住宅着工戸数は2,028戸で、前年同月比17.2%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比3.2%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家（同63.5%増）が2か月ぶり、分譲住宅（同2.2%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
戸数（戸）	1,553	1,509	1,656	1,713	1,672	1,621	1,712	2,028
前年同月比（%）	19.4	▲2.7	▲4.3	0.4	5.4	▲7.3	▲7.6	17.2
うち持家（%）	0.7	▲8.8	▲15.5	▲7.8	▲11.1	▲14.6	▲6.9	▲3.2
貸家（%）	26.2	8.3	29.2	▲12.9	17.3	13.0	▲27.5	63.5
分譲住宅（%）	69.0	▲35.8	▲29.2	33.5	34.5	▲16.6	40.1	2.2
(参考)全国前年同月比（%）	6.6	▲0.3	▲3.2	▲11.9	3.5	▲4.8	▲6.7	▲9.4

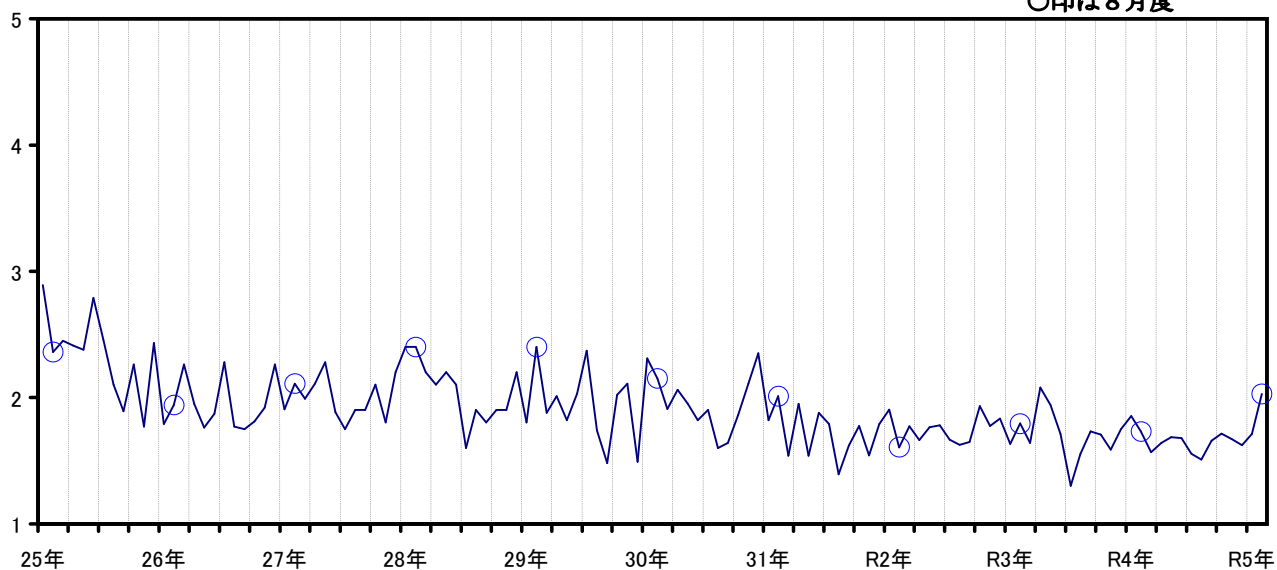
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は8月度



3 公共工事請負金額

8月 = 26,199百万円

*前年同月比：28.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

8月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は26,199百万円で、前年同月比28.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は755件で、前年同月比6.4%減となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
金額（百万円）	10,855	19,256	30,045	54,507	40,649	35,790	27,166	26,199
前年同月比（%）	▲21.8	62.3	15.6	2.2	35.5	6.8	▲10.6	▲28.9
年度累計前年同月比（%）	▲14.6	▲11.9	▲10.0	2.2	14.2	12.1	7.4	0.1
件数（件）	301	316	627	500	612	844	760	755
前年同月比（%）	27.5	52.7	30.1	▲3.7	17.2	9.8	4.1	▲6.4
年度累計前年同月比（%）	▲7.2	▲5.4	▲3.1	▲3.7	6.8	8.1	6.9	3.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国	▲17.1	9.1	▲39.5	▲35.9	11.2	▲0.5	▲76.1	7.7
独立行政法人等	▲31.8	618.7	43.8	30.8	33.3	▲80.8	▲34.6	▲99.5
県	75.2	36.6	27.7	0.0	49.1	15.9	34.9	▲21.3
市町	6.6	89.7	56.7	▲7.9	28.3	31.2	▲12.0	▲6.9
地方公社	5.1	-	-	▲92.5	-	757.4	▲67.0	▲6.9
その他	▲84.3	961.5	86.0	84.4	101.4	▲62.3	▲74.3	▲83.2

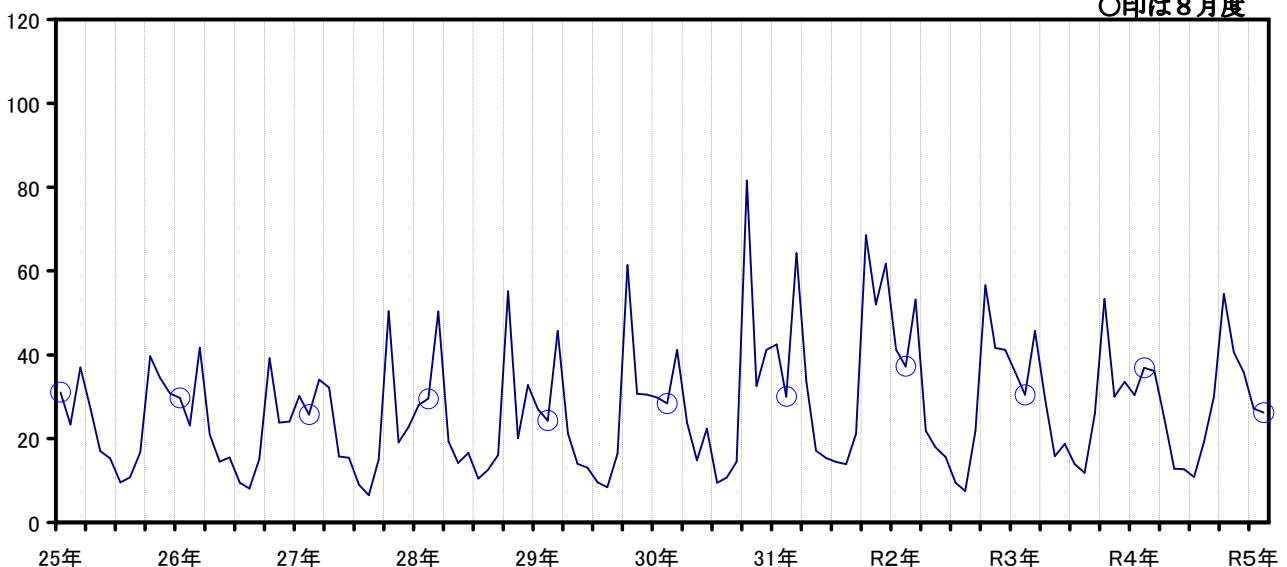
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は8月度



4 設備投資

<概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、非製造業で減少し、製造業、全産業においていずれも増加した。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 29.6%増）、非製造業（同 3.8%増）、全産業（同 17.9%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.5%増）、非製造業（同 5.2%増）、全産業（同 13.8%増）においていずれも増加する計画となっている。

8月の着工建築物床面積（非居住用）は83,901㎡で、前年同月比 1.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	(▲5.2) 9.1	(▲2.3) 17.9
	全国	(▲2.0) 9.2	(5.5) 11.8
製造業	県	(▲10.9) 19.2	(▲4.2) 29.6
	全国	(▲5.8) 9.0	(1.9) 15.1
非製造業	県	(2.7) ▲1.1	(0.5) 3.8
	全国	(0.3) 9.3	(7.7) 9.9

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	(▲3.2) 12.6	(1.7) 13.8
	全国	(▲3.3) 7.4	(4.1) 12.4
製造業	県	(▲5.1) 17.5	(1.5) 16.5
	全国	(▲4.2) 8.5	(2.2) 11.5
非製造業	県	(3.3) ▲1.0	(2.0) 5.2
	全国	(▲2.2) 6.2	(6.3) 13.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和5年6月調査)」

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	118,993	65,360	107,220	78,061	134,431	138,959	105,191	83,901
前年同月比（%）	26.1	▲1.0	10.3	▲21.8	2.7	30.3	▲57.1	▲1.5
（参考）全国前年同月比（%）	20.4	▲3.8	▲22.7	▲1.3	▲17.0	▲34.2	▲27.5	▲11.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年3月	R5年6月	R5年9月 (予測)
全産業		▲1	4	6
	製造業	▲12	▲4	▲2
	非製造業	8	12	13
（参考）全国・全産業		5	8	7

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年6月調査)」

5 輸出

8月 = 199,106百万円

*前年同月比： 4.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸出総額は199,106百万円で、前年同月比 4.8%減となり、15か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 69.4%増）が8か月連続、自動車の部分品（同 18.2%増）、科学光学機器（同 9.1%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 14.2%減）が2か月ぶり、エアコン（同 12.5%減）が3か月連続、二輪自動車類（同 36.5%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（同 9.4%増）が12か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 8.0%減）が9か月連続、米国向け（同 15.3%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出総額(百万円)	179,143	210,327	235,298	224,715	191,860	224,383	234,264	199,106
前年同月比(%)	13.4	13.6	3.0	5.0	5.2	0.0	2.1	▲4.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原動機	27.3	40.6	6.4	15.4	27.5	▲17.2	2.8	▲14.2
エアコン	111.7	123.2	37.9	51.4	2.8	▲18.2	▲20.6	▲12.5
自動車	91.1	51.3	109.4	37.7	13.0	53.0	60.0	69.4
自動車の部分品	▲11.1	▲20.4	▲18.4	▲9.9	8.0	▲10.7	36.1	18.2
二輪自動車類	17.9	23.6	12.2	7.6	23.8	29.4	▲7.6	▲36.5
科学光学機器	2.3	38.9	19.4	2.6	15.0	▲0.1	0.6	9.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	▲5.4	▲13.1	▲13.5	▲13.9	▲13.1	▲13.1	▲10.4	▲8.0
米国	22.4	40.4	▲0.7	15.8	5.9	▲7.2	▲0.1	▲15.3
EU	33.4	40.5	28.9	29.9	43.6	25.4	24.2	9.4

<資料>清水税関支署

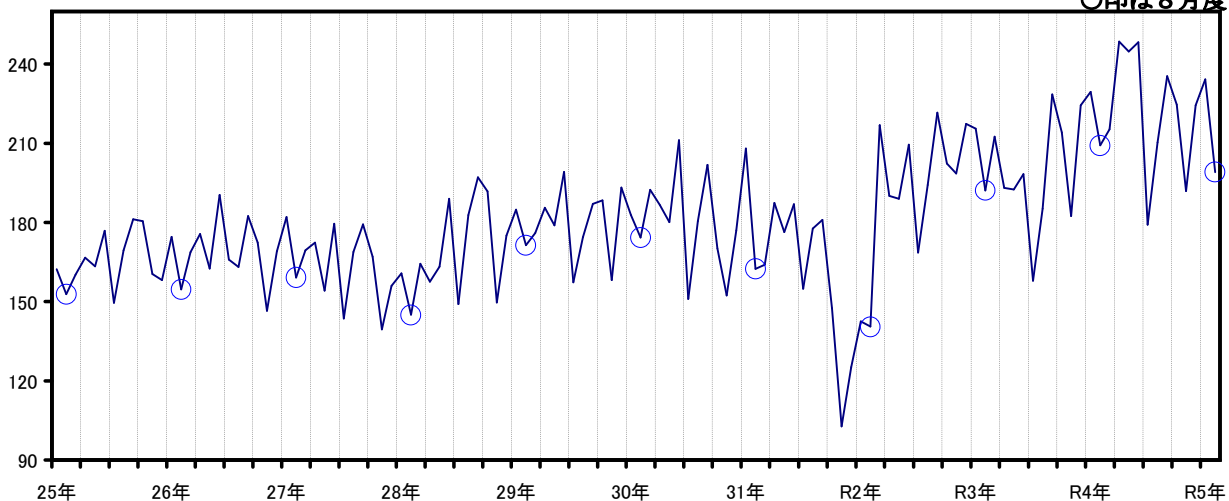
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は8月度



6 輸入

8 月 = 106,987百万円

*前年同月比： 16.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸入総額は106,987百万円で、前年同月比 16.5%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 5.9%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 25.5%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 16.0%減）、パルプ（同 40.9%減）がいずれも3か月連続、木材（同 32.3%減）が9か月連続、原動機（同 11.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別では、米国から（同 13.0%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 2.5%減）が2か月連続、EUから（同 31.7%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸入総額(百万円)	136,519	133,116	133,157	122,996	121,341	124,354	111,539	106,987
前年同月比(%)	31.1	36.4	20.2	▲10.3	▲0.3	▲7.7	▲7.2	▲16.5

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
魚介類及び同調製品	41.4	3.6	10.9	▲18.4	5.7	▲27.1	▲18.7	▲16.0
木 材	▲14.3	▲49.1	▲10.5	▲9.7	▲19.4	▲45.5	▲35.5	▲32.3
パ ル プ	25.0	▲1.5	7.7	▲34.7	16.8	▲25.0	▲41.1	▲40.9
紙 類 及 び 同 製 品	9.4	15.7	58.0	0.3	19.3	▲12.8	7.3	5.9
原 動 機	▲58.1	▲29.4	▲53.2	▲43.9	▲5.3	▲25.4	2.7	▲11.8
自 動 車 の 部 分 品	24.6	▲6.8	▲3.9	12.1	24.0	53.4	38.2	25.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ア ジ ア	55.1	3.4	32.5	▲3.2	▲14.8	8.3	▲4.8	▲2.5
米 国	39.8	370.6	27.5	23.0	98.1	▲22.1	18.7	13.0
E U	30.9	3.9	▲30.6	▲5.2	15.6	▲9.5	12.9	▲31.7

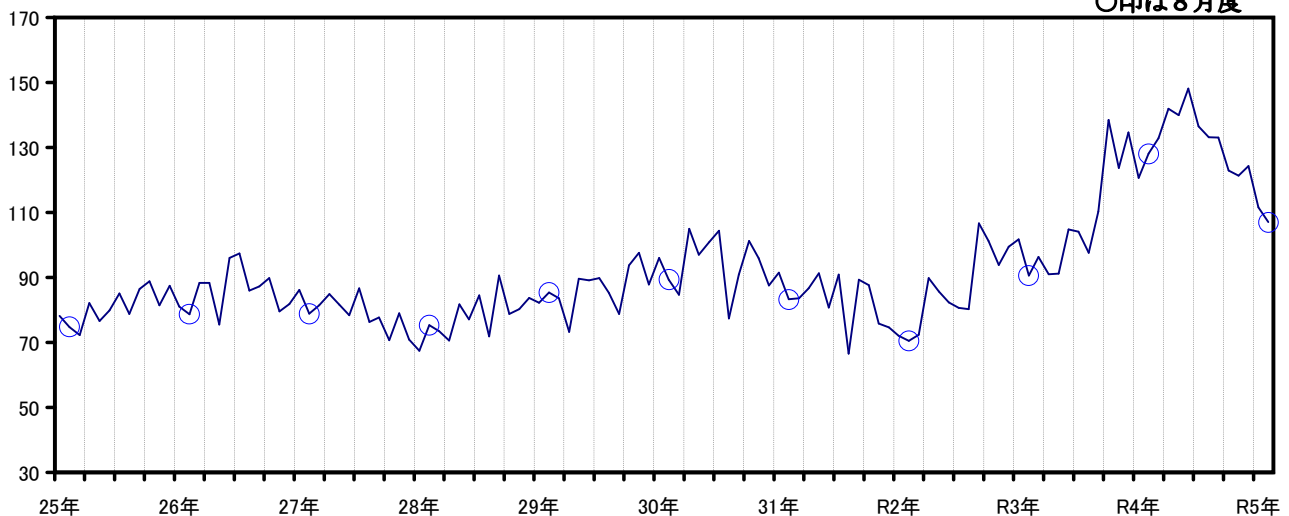
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は8月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

8月 = 90.2

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.7%減

*前年同月比(原指数) : 6.1%減

<概況>

8月の鉱工業生産指数(総合)は90.2(季節調整済指数)で、前月比は0.7%減と、3か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は6.1%減と、3か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、輸送機械(前年同月比 3.5%増)が6か月連続、化学(同 0.9%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 19.2%減)が2か月ぶり、電気機械(同 19.9%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 4.4%減)が10か月連続、食料品・たばこ(同 6.0%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	92.2	89.5	94.3	94.8	95.5	93.1	90.8	90.2
前月比(%)	▲2.4	▲2.9	5.4	0.5	0.7	▲2.5	▲2.5	▲0.7
前年同月比(%)	8.2	1.3	5.4	2.0	13.6	▲0.6	▲3.7	▲6.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.8	▲0.6	▲0.8	▲0.7	4.2	0.0	▲2.3	▲4.4

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

ただし、全国鉱工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.3	10.9	35.3	7.1	26.6	▲11.2	8.4	▲19.2
電気機械工業	▲1.5	4.0	▲11.9	6.6	46.2	10.1	▲17.9	▲19.9
輸送機械工業	35.1	▲3.7	11.5	5.9	16.1	6.1	0.8	3.5
化学工業	▲1.0	2.3	▲5.3	▲1.9	2.9	0.9	▲2.1	0.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.4	▲3.7	▲3.6	▲6.5	▲6.5	▲5.9	▲6.3	▲4.4
食料品・たばこ工業	▲1.9	1.6	2.6	▲4.6	5.8	▲7.9	▲6.2	▲6.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

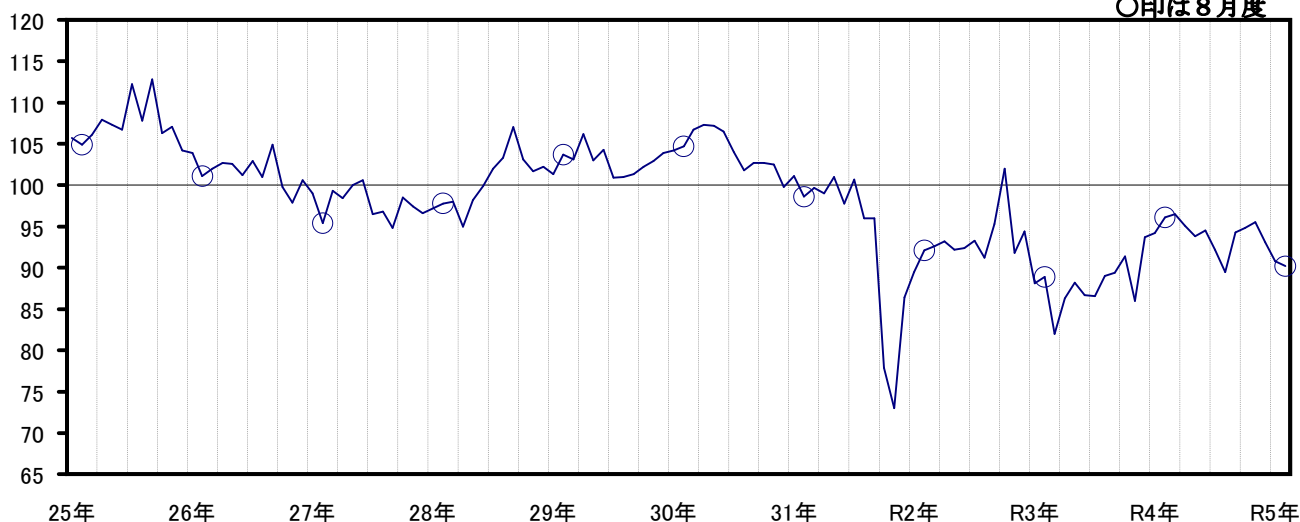
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は8月度



(2) 鋳工業在庫指数

8月 = 106.6

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.8%増

*前年同月比(原指数) : 2.2%減

<概況>

8月の鋳工業在庫指数(総合)は106.6(季節調整済指数)で、前月比は1.8%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は2.2%減と、2か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 19.5%増)が8か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同 1.8%減)が13か月ぶり、輸送機械(同 6.5%減)、食料品・たばこ(同 3.7%減)がいずれも2か月連続、化学(同 6.8%減)が10か月連続で前年水準を下回った。パルプ・紙・紙加工品(同 0.0%)は前年水準と同等であった。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	106.7	102.6	103.2	111.3	108.2	109.1	104.7	106.6
前月比(%)	0.2	▲3.8	0.6	7.8	▲2.8	0.8	▲4.0	1.8
前年同月比(%)	4.1	▲1.4	▲3.8	4.3	1.0	3.6	▲3.3	▲2.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.4	1.6	2.3	6.0	7.3	5.9	5.7	3.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

ただし、全国鋳工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	4.5	5.6	10.7	15.1	23.5	12.8	22.2	19.5
電気機械工業	18.0	17.3	9.0	10.1	15.7	13.6	11.0	▲1.8
輸送機械工業	63.1	2.7	19.8	11.8	22.6	12.6	▲26.2	▲6.5
化学工業	▲9.7	▲25.3	▲25.5	▲3.7	▲18.8	▲2.1	▲0.4	▲6.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.2	▲0.9	3.3	7.0	2.8	▲0.1	▲2.5	0.0
食料品・たばこ工業	10.5	27.4	▲7.3	24.0	5.4	9.7	▲16.0	▲3.7

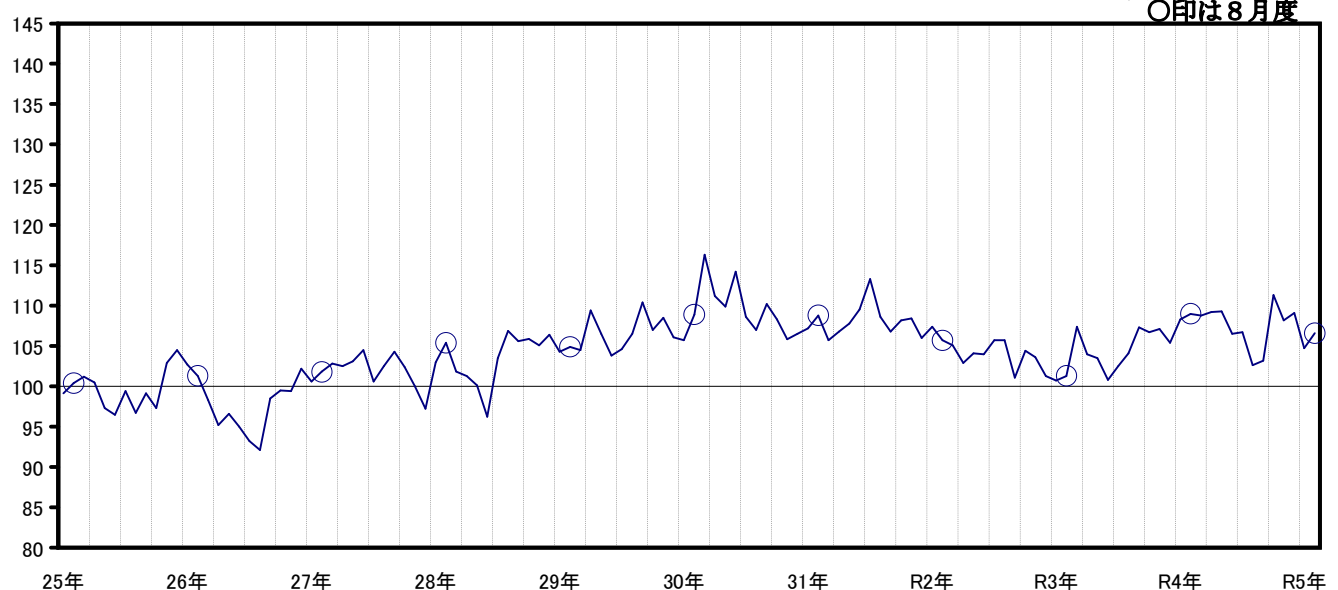
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

8 月 = 1.20倍

*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

8月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.20倍となり、前月を0.02ポイント下回った。31か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.09ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比3.9%減)は3か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比15.9%増)が2か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同12.2%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同3.0%減)が5か月連続、製造業(同15.8%減)が10か月連続、運輸業・郵便業(同4.5%減)が3か月連続、卸売業・小売業(同4.4%減)、医療・福祉(同2.5%減)がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
県	1.29	1.27	1.23	1.24	1.26	1.26	1.22	1.20
全 国	1.35	1.34	1.32	1.32	1.31	1.30	1.29	1.29

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建 設 業	▲ 14.0	▲ 9.6	0.3	▲ 7.3	▲ 7.2	▲ 3.2	▲ 10.9	▲ 3.0
製 造 業	▲ 5.1	▲ 13.7	▲ 19.0	▲ 1.1	▲ 7.3	▲ 16.8	▲ 9.6	▲ 15.8
情 報 通 信 業	▲ 16.7	27.2	▲ 17.3	▲ 13.6	26.6	▲ 22.6	7.0	15.9
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 8.2	▲ 15.3	▲ 8.6	17.8	6.1	▲ 9.5	▲ 1.3	▲ 4.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 5.4	7.1	23.6	34.6	12.0	▲ 2.2	40.0	▲ 4.4
医 療 ・ 福 祉	1.4	▲ 2.5	▲ 5.4	▲ 2.3	▲ 1.6	▲ 0.6	3.7	▲ 2.5
サービス業(他に分類されないもの)	5.2	0.8	▲ 2.1	▲ 5.1	7.8	6.7	▲ 12.3	12.2
合 計	▲ 3.7	▲ 5.3	▲ 3.0	1.6	1.4	▲ 4.9	▲ 1.0	▲ 3.9

(注)学卒、パートタイムを除く

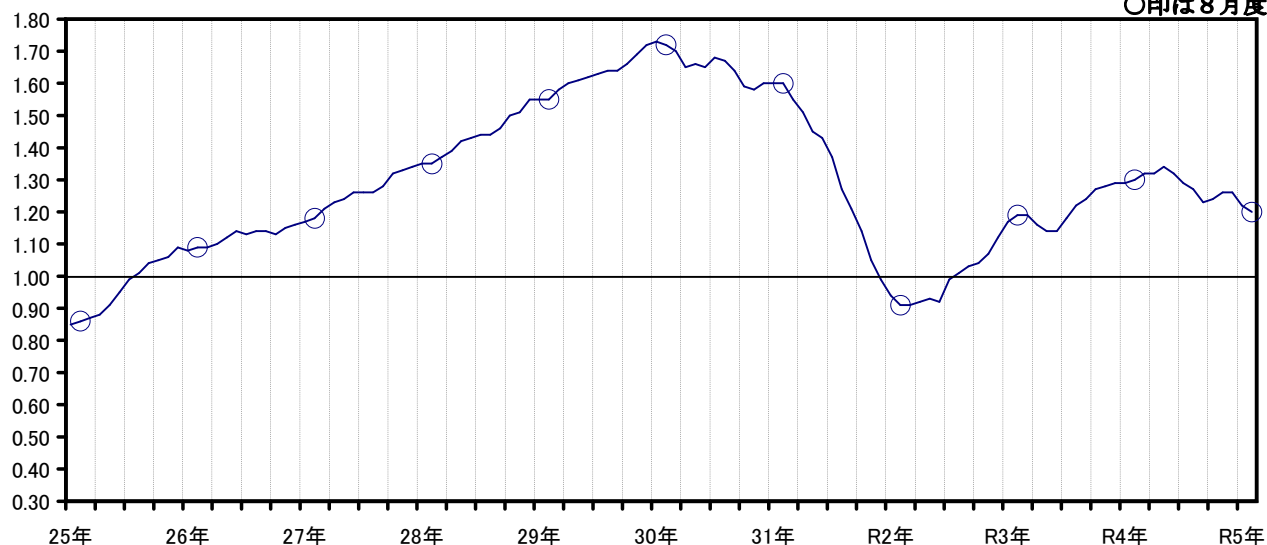
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は8月度



(2) 雇用保険受給者実人員

8月 = 13,329人

*前月比: 4.9%増

*前年同月比: 6.1%増

<概況>

8月の雇用保険受給者実人員は13,329人で、前月比は4.9%増と、4か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は6.1%増と5か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.7%と前月と同水準であった。

静岡県(令和5年4~6月)の完全失業率は2.3%で、前期(令和5年1~3月)と同水準であった。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実人員(人)	10,529	10,187	10,303	10,038	10,836	12,069	12,704	13,329
前月比(%)	▲0.2	▲3.2	1.1	▲2.6	7.9	11.4	5.3	4.9
前年同月比(%)	▲4.4	▲3.4	▲2.7	0.3	4.4	5.0	6.3	6.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.9	▲1.3	▲1.0	0.8	6.9	3.1	6.0	3.4

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.6	2.8	2.6	2.6	2.5	2.7	2.7

(注)季節調整値

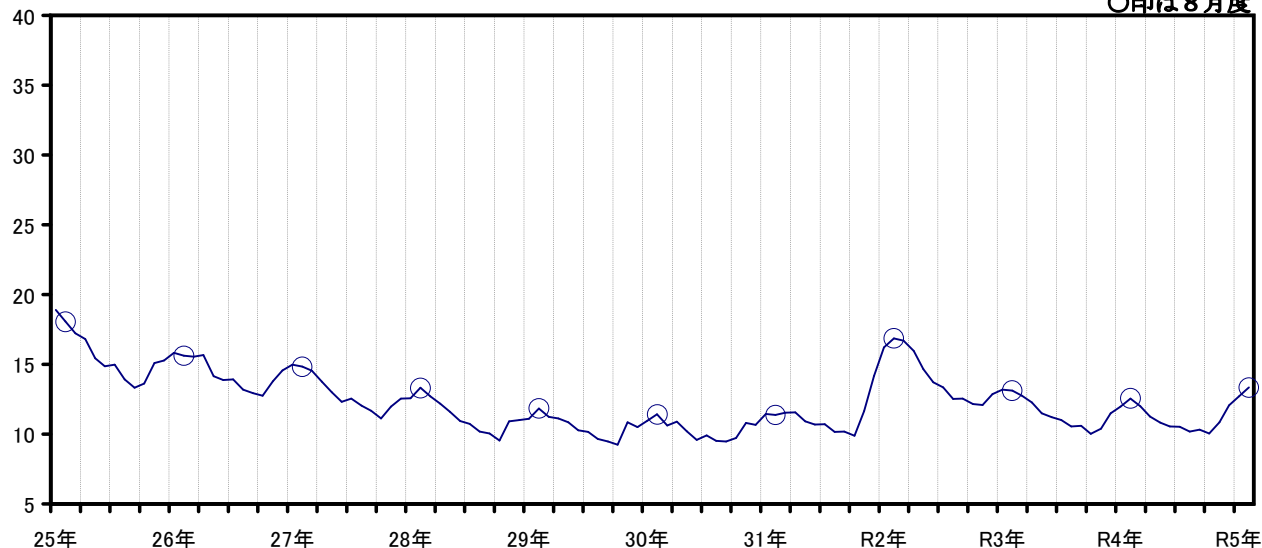
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は8月度



(3) 所定外労働時間指数

7月 = 119.6

*前月比(季節調整済指数): 5.9%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.5%増

<概況>

7月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は119.6(季節調整済指数)で、5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は2.5%増と、20か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比17.1%減)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同23.2%減)、その他のサービス業(同15.2%減)がいずれも7か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同18.7%増)が2か月連続、運輸業・郵便業(同7.3%増)が4か月連続、医療・福祉(同4.3%増)が2か月連続で前年実績を上回った。製造業(同0.0%)は前年と同水準となった。

<最近の動き>

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	117.9	116.9	115.1	115.5	117.8	122.9	127.1	119.6
前月比(%)	0.7	▲0.8	▲1.5	0.3	2.0	4.3	3.4	▲5.9
前年同月比(%)	13.4	1.7	0.8	2.5	2.4	2.6	8.7	2.5
(参考)全国前年同月比(%)	2.2	0.0	0.8	▲0.9	▲2.3	0.0	▲1.6	▲0.8

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	5.2	▲30.3	▲0.7	▲1.2	7.9	▲7.8	37.8	18.7
製造業	6.8	2.1	▲4.4	▲3.8	2.7	3.9	10.5	0.0
情報通信業	14.8	▲1.8	32.7	10.0	▲8.2	▲4.6	16.6	▲17.1
運輸業・郵便業	▲14.0	▲7.7	▲6.6	▲4.1	9.1	3.5	4.6	7.3
卸売業・小売業	5.2	▲19.8	▲12.1	▲5.6	▲7.1	▲35.9	▲25.6	▲23.2
医療・福祉	34.4	17.8	1.3	5.8	▲5.2	0.0	10.8	4.3
その他のサービス業	64.3	▲12.9	▲15.8	▲4.0	▲12.9	▲20.5	▲19.7	▲15.2
調査産業計	13.4	1.7	0.8	2.5	2.4	2.6	8.7	2.5

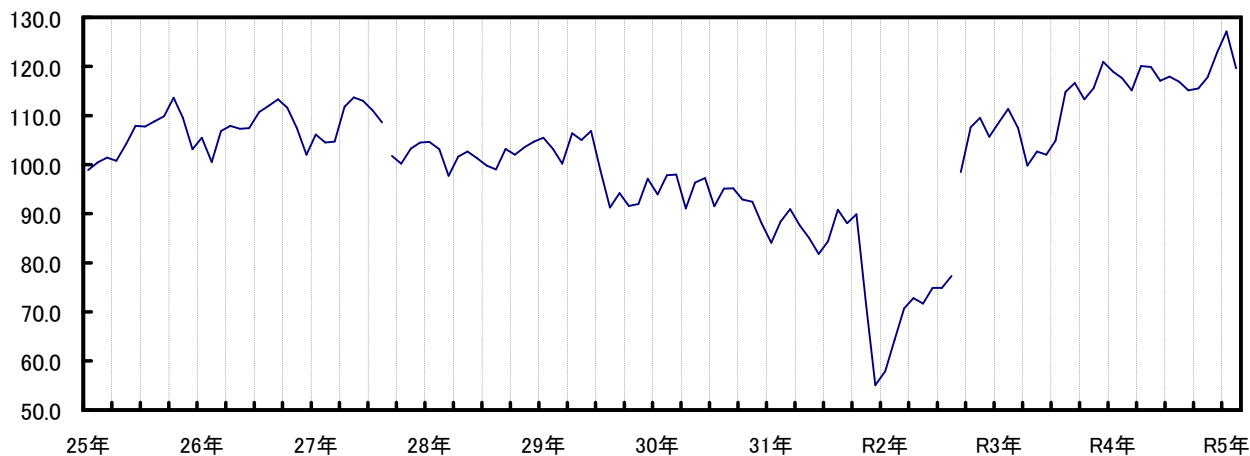
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

9 月 = 119.3

(令和2年=100)

*前 月 比: 0.3%下落

*前年同月比: 2.0%上昇

<概 況>

9月の国内企業物価指数は119.3となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は2.0%の上昇となった。

	R 5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内企業物価指数	119.6	119.7	120.1	119.3	119.2	119.4	119.7	119.3
前 月 比 (%)	▲ 0.3	0.1	0.3	▲ 0.7	▲ 0.1	0.2	0.3	▲ 0.3
前年同月比 (%)	8.3	7.4	5.8	5.1	4.1	3.5	3.3	2.0

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

8 月 = 142,029億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.2%減

*前年同月比: 0.4%減

<概 況>

8月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,029億円で、前月比とは0.2%の減少となった。また、前年同月比は0.4%の減少となった。

	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出残高(億円)	143,040	143,026	144,419	143,583	142,867	142,709	142,257	142,029
前 月 比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.0	1.0	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.2
前年同月比 (%)	0.3	0.4	1.4	1.0	0.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8 月 = 1.269%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.003ポイント減

*前年同月差: 0.053ポイント減

<概 況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.269%で、前月から0.003ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.053ポイントのマイナスとなった。

	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利 (%)	1.298	1.296	1.292	1.291	1.286	1.279	1.272	1.269
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.007	▲ 0.003
前年同月差(ポイント)	▲ 0.072	▲ 0.068	▲ 0.063	▲ 0.058	▲ 0.058	▲ 0.055	▲ 0.057	▲ 0.053

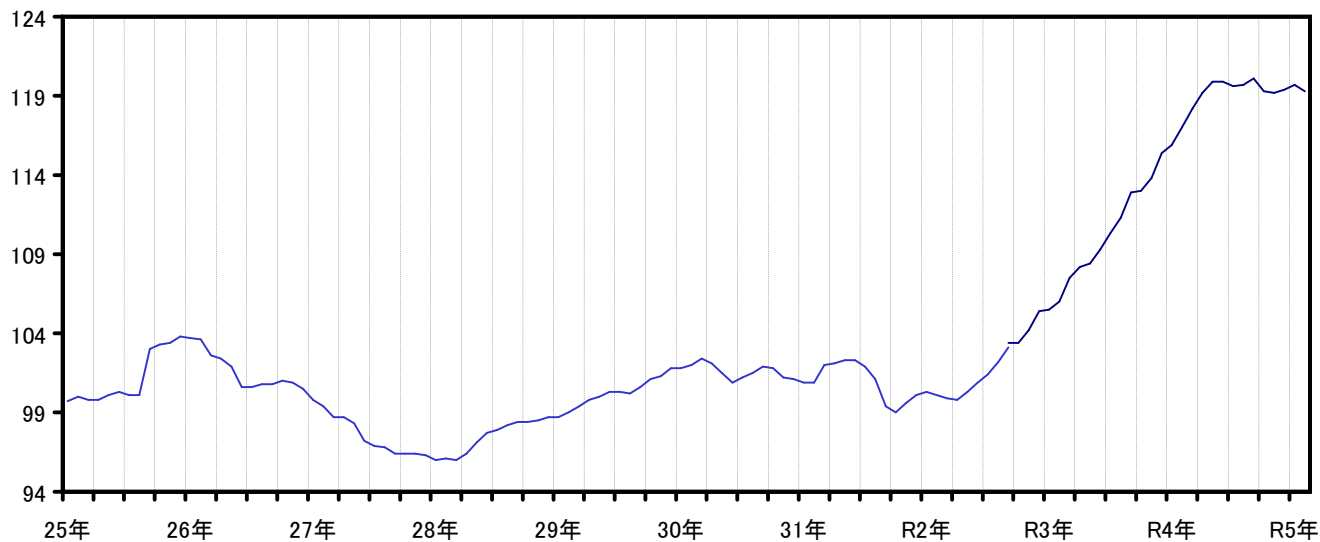
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

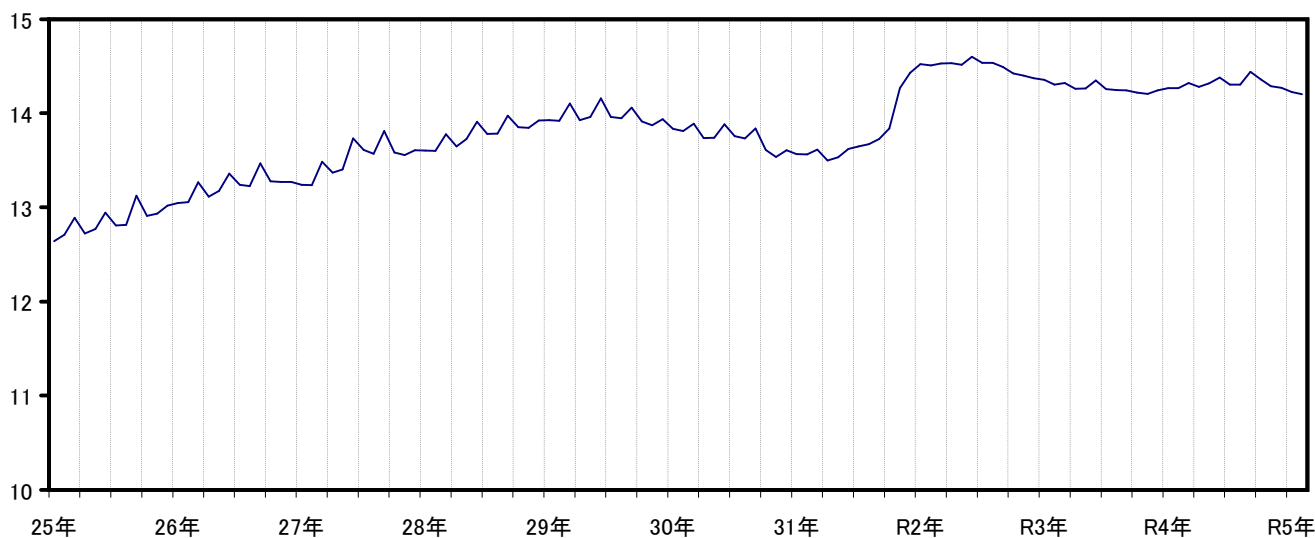
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



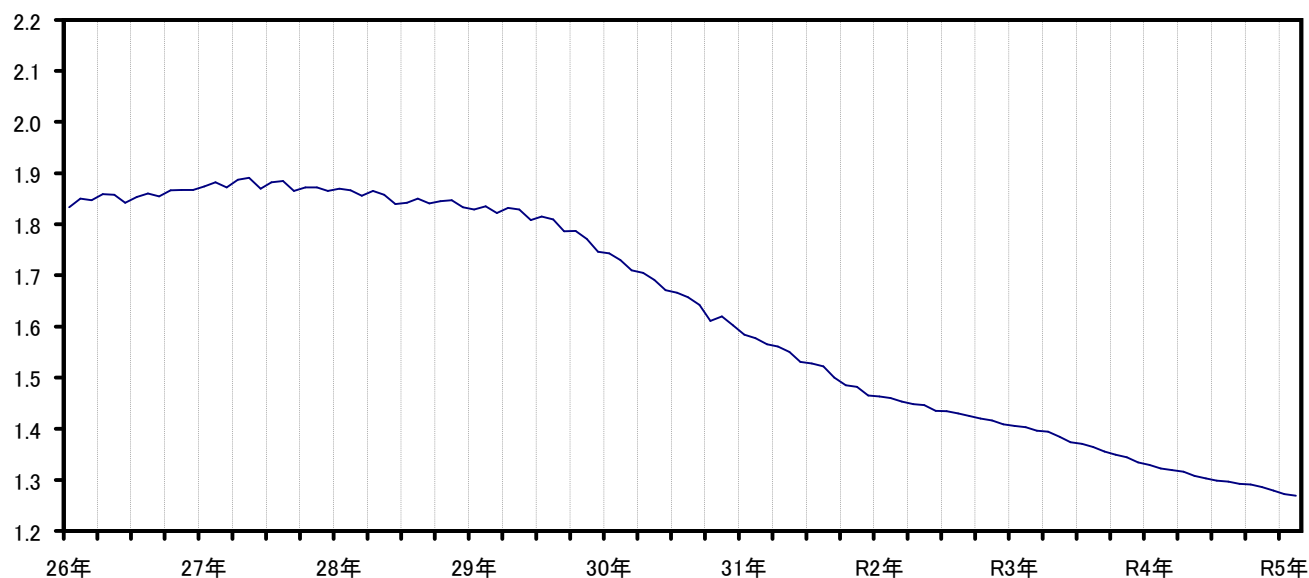
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**8月 = 26,616百万円**

*前年同月比： 4.7%増

<概況>

8月の保証承諾は、金額は26,616百万円（前年同月比 4.7%増）、件数は1,971件（同 0.6%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
保証金額（百万円）	17,702	21,917	35,976	15,395	22,849	28,390	25,377	26,616
前年同月比（%）	34.5	27.7	35.2	▲ 52.5	▲ 33.7	▲ 15.3	8.2	4.7
保証件数（件）	1,393	1,682	2,457	1,302	1,637	2,066	1,881	1,971
前年同月比（%）	8.9	4.4	2.8	▲ 23.2	▲ 13.8	1.8	8.1	0.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**9月 = 147.67円/ドル**

*前月差： 2.90円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 4.53円安

<概況>

9月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は147.67円で、前月と比べて2.90円の円安となり、5か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均相場（円）	132.68	133.85	133.33	137.37	141.19	141.21	144.77	147.67
前月差（円）	2.48	1.17	▲ 0.52	4.04	3.82	0.02	3.56	2.90
前年同月差（円）	17.48	15.34	7.29	8.59	7.33	4.58	9.53	4.53

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****9月 = 31件**

*前年同月比： 93.7%増

<概況>

9月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は31件（前年同月比 93.7%増）、負債総額は1,666百万円（同 34.3%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が25件と全体の80.6%を占め、14か月連続で50%以上となっている。

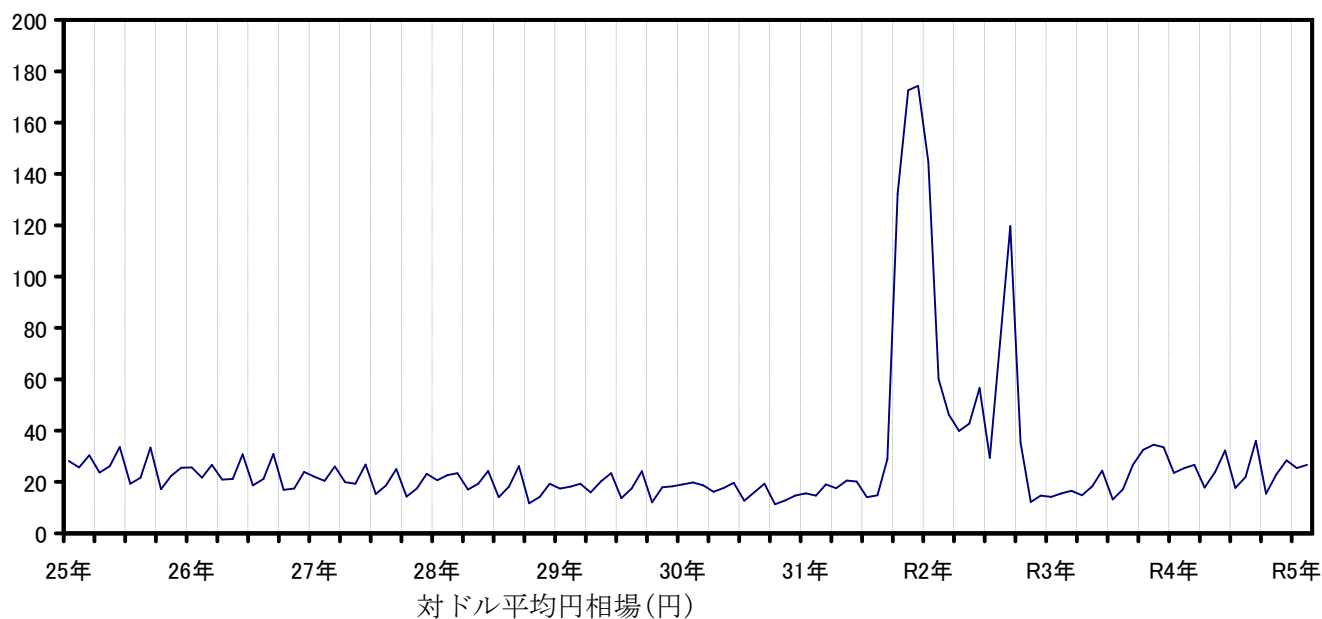
	R 5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
倒産件数（件）	19	30	11	17	15	24	15	31
前年同月比（%）	171.4	87.5	▲ 42.1	▲ 5.5	0.0	380.0	66.6	93.7
うち不況型倒産件数(件)	19	22	7	11	13	19	13	25
負債総額（百万円）	1,355	3,669	627	3,470	1,630	19,697	2,247	1,666
前年同月比（%）	81.6	143.4	▲ 89.4	85.0	▲ 15.7	11,155.4	8.0	34.3

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

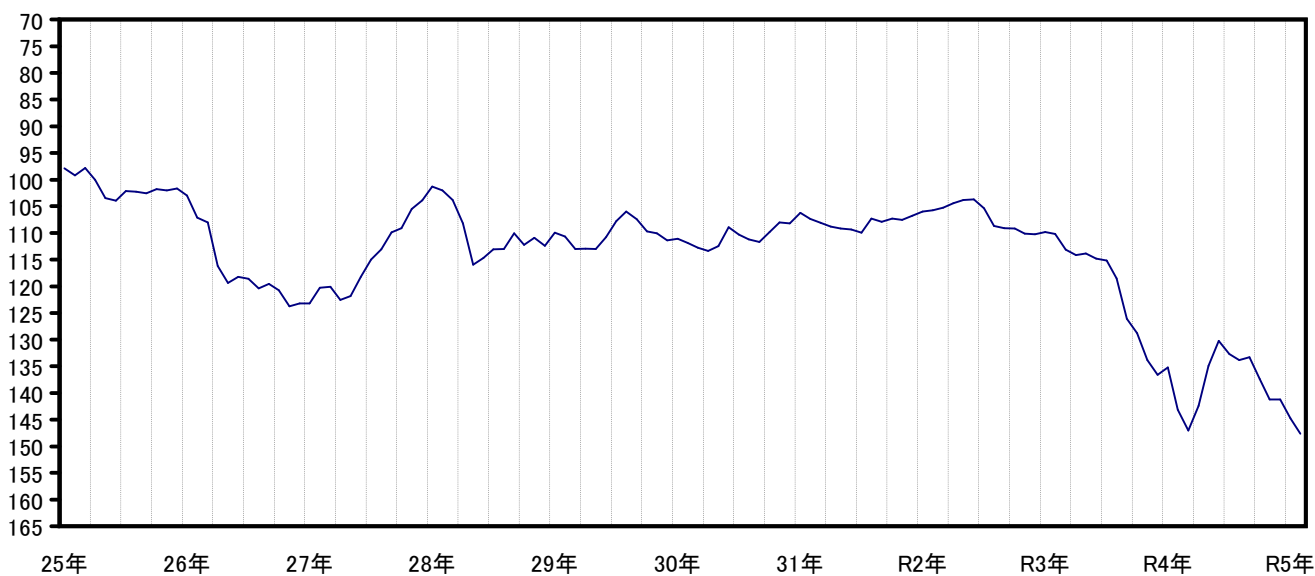
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

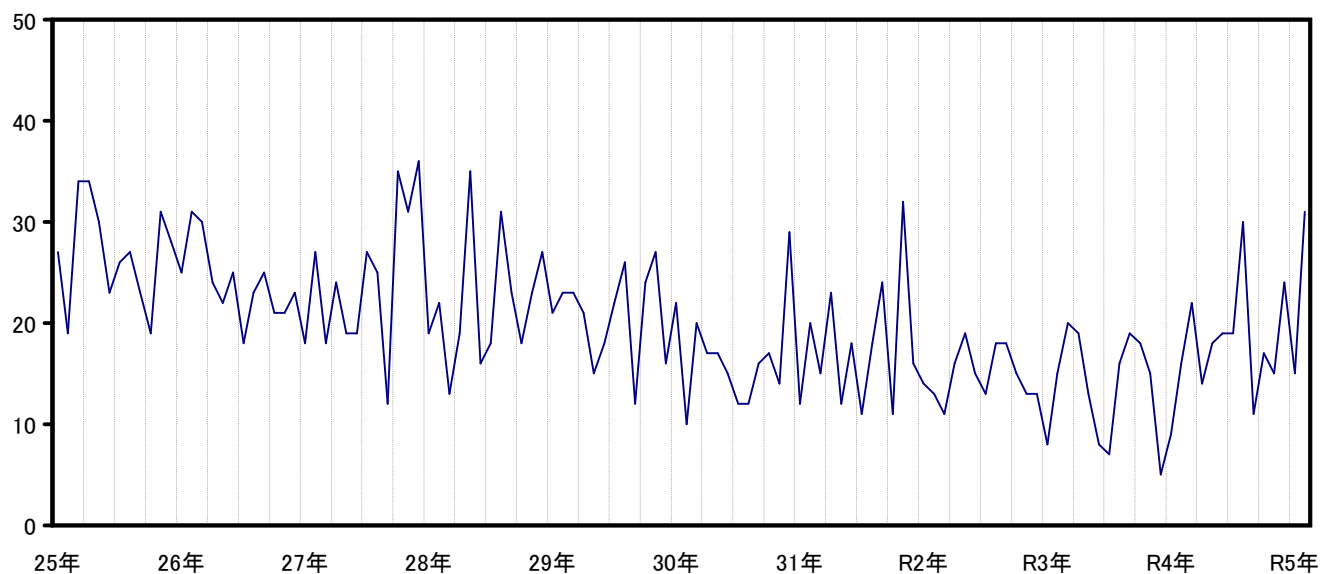


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和5年8月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、49,853台（前年同月比17.4%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、6,315台（同52.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,473台（同41.8%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,731台（同16.8%減）で3か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,334台（同0.3%減）で、13か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,503台（同34.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、48,714台（同33.6%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>7月の自動車国内生産台数は、778,244台（前年同月比 11.2%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。輸出は396,705台（同 11.1%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が7か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>8月の冷蔵庫の国内出荷額は415億円（前年同月比0.4%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は327千台（同 3.1%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>8月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは721千台（同 6.2%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。業務用は76千台（同 2.8%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>8月の携帯電話の国内出荷台数は、468千台（同 32.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、348千台（同 37.6%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は74.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>8月の工作機械の受注総額は、1,147億6,000万円（前年同月比 17.6%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は790億4,300万円（同 9.7%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが339億4,600万円（同 22.4%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。内需は357億1,700万円（同 31.0%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「電気自動車普及によりプレス加工会社の受注が減少している。」「主要取引先の仕事量の減少のため、他からの仕事を受注しなければならないので対応が厳しい。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

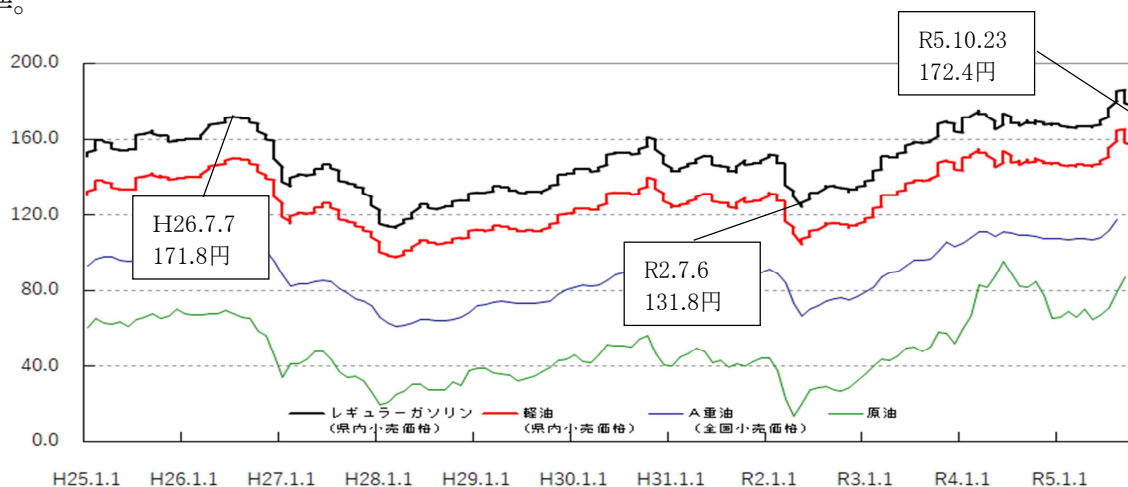
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>8月の県内楽器メーカーの販売金額は、46億4,014万円（前年同月比12.2%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが31億53万円（同1.0%増）で、13か月連続で前年実績を上回り、国内向けが15億3,960万円（同30.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は2,644台（同1.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,658台（同12.1%減）、グランドピアノが986台（同24.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,028台（同14.2%減）で2か月連続で前年実績を下回り、国内向けが631台（同42.1%減）で2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>8月の紙・板紙の国内出荷高は、1,618千トン（前年同月比8.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は766千トン（同10.1%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。板紙は851千トン（同7.1%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、392千トン（同12.3%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、149千トン（同4.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>8月の県内生産量は、食缶類が国内向け954千箱（前年同月比12.1%減）と7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は657千箱（同18.1%減）と3か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は421千箱（同24.8%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は296千箱（同5.0%増）と5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,092千箱（同6.0%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>8月の広幅織物の県内生産は、674千㎡（前年同月比0.9%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、629千㎡（同1.1%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、45千㎡（同22.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千㎡（同12.8%増）で、16か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>8月の全国百貨店での家具販売額は、38億7,795万円（前年同月比2.1%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、569億4,609万円（同1.1%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>8月の県内百貨店・スーパーの販売額は、37,948百万円（既存店前年同月比1.9%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、家庭用品の売上げが前年同月の実績を下回ったが、衣料品、身の回り品及び食料品の売上げが前年同月の実績を上回った。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、旅行用品や化粧品の売上げが好調だった。また、コロナ禍で控えていたキャラクターショー等のイベントを再開したことで、ファミリー層の来客数が増加した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げは同程度であった。売上げについて、身の回り品は好調だったが、家庭用品は不調だった。なお、8月下旬から秋冬物の衣料品の扱いを始めたが、気温が高かったことから売行きは良くなかった。</p> <p>伊豆の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、青果は猛暑や大雨の影響を受けて不作となり、販売価格が上昇したため売上げが減少した。また、台風7号の影響により、来客数が減少した。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年8月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約44万人で、前年同月比8.8%減となった。</p> <p>今年の8月は、お盆期間中の台風が集客に影響したことや連日の猛暑により屋外施設が敬遠される傾向にあったことなどが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約69万台となり、前年同月比1.7%減となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー172.4円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完成車生産台数(台)	26,935	24,502	26,832	27,553	23,018	23,336	28,877	16,417	18,694
前年同月比(%)	4.4	16.4	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 0.7	36.8	8.1	▲ 37.6	▲ 30.0
KD輸出額(百万円)	1,573	1,491	1,576	1,663	1,746	1,210	789	1,350	874
前年同月比(%)	4.6	4.0	▲ 2.8	▲ 14.3	▲ 9.6	6.8	▲ 11.3	36.5	▲ 3.5

<楽 器>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産総額(百万円)	3,236	2,827	3,294	3,528	3,269	3,439	4,012	3,738	2,919
前年同月比(%)	9.2	1.4	12.7	9.1	4.6	29.0	26.3	16.6	13.0

<缶 詰>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
食缶生産高(千ケース)	1,010	914	910	1,023	1,008	916	982	1,021	954
前年同月比(%)	14.8	3.5	▲ 2.7	▲ 0.7	▲ 4.2	▲ 2.2	▲ 18.5	▲ 9.4	▲ 12.1
うち水産缶詰(%)	15.9	4.9	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 3.9	4.0	▲ 17.0	▲ 9.7	▲ 18.1
農畜産缶詰(%)	12.1	0.7	10.6	7.2	▲ 5.0	▲ 16.5	▲ 22.6	▲ 8.4	5.0
飲料缶生産高(千ケース)	6,473	5,066	6,130	7,467	7,837	7,674	7,495	7,353	7,092
前年同月比(%)	17.5	7.3	0.6	0.5	11.0	▲ 0.2	▲ 5.4	▲ 7.2	▲ 6.0

<織 維>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
広幅織物(千㎡)	746	747	691	708	676	644	693	676	674
前年同月比(%)	▲ 2.5	0.0	4.8	▲ 7.9	▲ 7.2	▲ 4.8	▲ 6.3	▲ 8.2	▲ 0.9
小幅織物(千㎡)	20	15	16	19	19	20	19	19	15
前年同月比(%)	37.1	3.1	0.8	12.1	10.5	15.6	11.2	23.7	12.8

<観 光>

	R 4年12月	R 5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,700	1,417	1,454	1,914	1,521	1,724	1,342	1,820	2,435
前年同月比(%)	▲ 0.4	8.8	50.4	30.9	8.3	15.4	16.5	7.2	1.2
観光施設(10施設)入込 (千人)	298	352	321	494	463	543	316	347	439
前年同月比(%)	▲ 3.8	29.2	63.1	20.1	7.1	▲ 0.9	19.1	19.9	▲ 8.8
有料道路(4路線)通行 量(千台)	620	548	557	644	560	607	523	626	693
前年同月比(%)	0.4	5.6	19.8	3.4	2.0	▲ 2.9	▲ 3.9	2.8	▲ 1.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和5年10月号 通巻570号

発行 静岡県経済産業部
令和5年10月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>